

# Yotsuba moto **WOOF**



## 取扱説明書・保証書

このたびはヨツバモトWOOFをお買い上げいただきありがとうございます。

この取り扱い説明書には製品のセットアップおよび使用方法、保管方法などが記載されておりますので、車両保有期間はこの取扱説明書・保証書はお手元に保管してください。

## ***Instruction manual and warranty***

*Thank you for purchasing Yotsubamoto WOOF.*

*Please store this instruction manual and warranty form in a safe place for the duration of possession of the product, as this manual describes the setup, method of use, storage method of the product, etc.*



1. ヨツバモト WOOF について	P.4
2. 同梱品の確認	P.5
3. 各部の名称	P.6
4. バッテリーの充電	P.7
5. 組み立て、調整	P.8~15
6. パワー調整ダイヤル	P.16
7. モード切替スイッチ	P.16
8. メインスイッチ&インジケーター	P.17
9. 走行前の点検	P.17
10. 操作方法	P.18
11. 転倒センサー	P.19
12. バッテリーの取り扱い	P.20
13. モーター (ワンウェイクラッチ)	P.21
14. ブレーキパッドの消耗	P.21
15. 故障かな、と思ったら	P.22
16. 主要諸元	P.23
17. 製品の保証について	P.24

1. <i>About Yotsuba Moto WOOF</i>	<i>P.26</i>
2. <i>Checking the enclosed parts</i>	<i>P.27</i>
3. <i>Name of each part</i>	<i>P.28</i>
4. <i>Charging the battery</i>	<i>P.29</i>
5. <i>Assembly and Adjustment</i>	<i>P.30~37</i>
6. <i>Power adjustment dial</i>	<i>P.38</i>
7. <i>Mode switch</i>	<i>P.38</i>
8. <i>Main switch &amp; indicator</i>	<i>P.39</i>
9. <i>Inspection before ride</i>	<i>P.39</i>
10. <i>How to operate</i>	<i>P.40</i>
11. <i>Tumble sensor</i>	<i>P.41</i>
12. <i>Handling the battery</i>	<i>P.42</i>
13. <i>Motor (one-way clutch)</i>	<i>P.43</i>
14. <i>Brake pad wear</i>	<i>P.43</i>
15. <i>If you think you have a problem</i>	<i>P.44</i>
16. <i>Specifications</i>	<i>P.45</i>
17. <i>Product Warranty</i>	<i>P.46</i>

# 1. ヨツバモトWOOFについて

ヨツバモトは、2017年に㈱ダートフリークがプロデュースした、3～4歳の小さなお子様でも安心して楽しむことができるように設計された電動バイク Meowシリーズの発売から始まったバイクブランドです。

本製品WOOFは、Meowでバイクに親しんだライダーのステップアップとして最適なバイクです。もちろん、7～8歳以降で、初めてバイクに乗るといったライダーにも親しみやすいようにデザインされています。

乗車に際してはヘルメットを必ず装着してください。長袖、長ズボン、ブーツ、ヒジヒザのプロテクターの着用を推奨します。保護者の方の目の届くところで、安全に乗車を開始してください。



## 注意

ヨツバモトWOOFは競技専用オートバイに分類されます。

**絶対に公道では走行しないでください。**

一般公道(道路法に規定する道路、道路運行情法に規定する自動車道および、一般交通の用に供するその他の場所)または人や車が自由に出入りできる所も一般の道路とみなされます。

走行可能なパーク情報等は、随時ホームページにてご紹介しています。

[www.yotsubakids.jp](http://www.yotsubakids.jp)

## 2. 同梱品の確認

パッケージの中には、以下の内容物が入っています。

※画像はWOOF16です



- |            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| ①本体        | ⑥フットペグ     | ⑩フロントフェンダー   |
| ②前輪&ナット、金具 | ⑦バッテリー固定キー | ⑪デカール 2セット6枚 |
| ③ハンドル      | ⑧ゼッケンプレート  |              |
| ④リアフェンダー   | ⑨充電器       |              |
| ⑤シート       |            |              |

※組み立てと調整に使用する工具は同梱されていません。必要な工具は以下のとおりです。

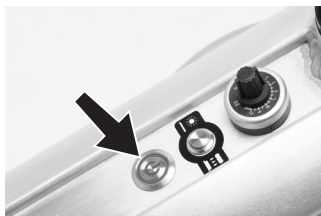
- ・スパナ、メガネレンチ 8mm、10mm、14mm、15mm、22mm
- ・ドライバー No.2
- ・六角レンチ 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、10mm
- ・プラスチックハンマー
- ・空気入れ(先端が小ぶりのもの)

# 3. 各部の名称

※画像はWOOF16です



## 4. バッテリーの充電



メイン電源がオフ(非点灯)であることを確認してください。



バッテリー右側のシリンダーにキーを差し込み、左に180°回転すると、ロックが解除されます。



バッテリーを前方にスライドさせると、バッテリーを取り外すことができます。

※充電は、車体に搭載したままでも、取り外した状態でも、どちらでも可能です。



左側のポートに充電器の端子を差し込みと充電が開始されます。充電器のインジケータランプが赤色に点灯していることを確認してください。

点灯色がグリーンになると充電完了です。充電時間の目安は3時間です。



車体の溝とバッテリーのソメを合わせて、スライドさせるようにバッテリーを車両後方に押し込んでください。



右側のキーシリンダーを右に180°回すことで、バッテリーが施錠できます。180°回転できない場合は、バッテリーの押し込みの不足を確認してください。

施錠後はキーを抜いてください。



### 注意

- 必ず、同梱の専用充電器を使用してください。
- 屋外で充電するときは日陰で行ってください。また、雨のかからない場所で行ってください。
- 過充電防止回路が備わっていますが、安全のため、充電が終了次第、充電器を取り外してください。
- 充電器に付属しているコードは専用品です。それ以外のコードを使用しないでください。

## 5. 組み立て、調整

組み立て調整作業は、専門的な内容を含み、不完全な場合は走行中の重大な不具合につながります。ご自身での組み立てに不安がある場合は、販売店にて組み立て調整を行うことをお勧めします。

また、日常の点検、調整のための記載が含まれておりますので、保護者の方も本項に目を通してください。

### ①前輪の取り付け



5mmの六角レンチでブレーキの固定ボルトを緩め、ブレーキキャリパーが左右に動く状態にしてください。



フォークに前輪を取り付けます。ブレーキディスクがブレーキパッドの間に入るようにしてください。



車軸にワッシャーを取り付け、15mmのレンチでナットを締め付けて固定してください。

### ②ハンドルバーの取り付け



4mmの六角レンチでボルトを緩め、ステムクランプを取り外します。



ハンドルバーを合わせ、ステムクランプを取り付けます。バーは垂直よりもやや手前に寝かせるようにしてください。

位置を決めた後、ボルトを締めこんで固定します。



5mmの六角レンチでコラム側のクランプボルトをゆるめ、ハンドルをまっすぐににして、再びボルトを締めこんで固定します。



### ③スイングアーム位置の選択

スイングアームは開封時はモトクロスポジションで取付られています。車高が低く、ホイールベースが長く、フロントフォークが寝ているため、スピードを出す走行に適しています。

トライアルポジションは比較的低速でタイトなターンやフロントアップなどのアクションに適したディメンションです。容易に変更できますので、パークによって使い分けてみてください。ここでは、モトクロスポジションからトライアルポジションに変更するケースを例にとり解説します。



モトクロスポジション



トライアルポジション



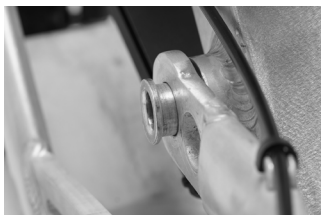
車両を台に乗せ、後輪を浮かせてください。



黒いゴムキャップを取り外してください。



スイングアームピボットの右側に6mmの六角レンチを差し込み、奥のボルトを緩めてください。供回りする場合は左のピボットに10mmの六角レンチを差し込んで固定してください。



6mmレンチで緩めた右側のボルトをレンチごと押し込むと、左側のピボットのパーツが押し出されてきます。

固い場合はプラスチックハンマーでレンチを叩いてください。



そのまま、左側のパーツを引き抜いてください。



左側から、10mmの六角レンチを押し込んで、右側のピボットパーツを押し出し、左側同様に引き抜いてください。

固い場合はプラスチックハンマーでレンチを叩いてください。



スイングアームをずらして、後方の穴をピボットの穴に合わせてください。



右側のピボットパーツを差し込みます。

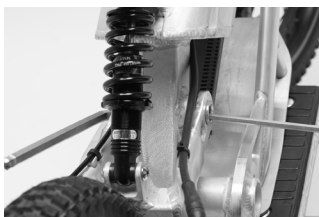


そのまま、奥まで押し込んでください。固い場合はプラスチックハンマーなどで軽く叩いて入れてください。



左側のピボットパーツを差し込み奥まで押し込みます。

固い場合はプラスチックハンマーなどで軽く叩いて入れてください。



左に10mmの六角レンチを差し込み、右側からボルトを差し込み、6mmの六角レンチで締めこんでください。



ピボットパーツが最後まで挿入されて、浮きやスキマが無いことを確認してください。

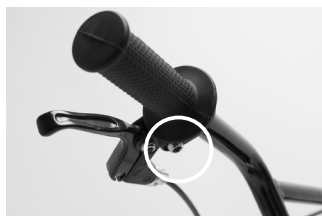
最後に、ゴムキャップを装着します。

#### ④レバーポジションの調整(左右共通)



2mmの六角レンチを使い、図示のネジを回転させ、レバーの近さをライダーの手のサイズに合うように調整します。

締めこむと、レバー位置が近くなります。(初期より遠くはできません)



5mmの六角レンチを使い、図示のボルトを緩め、レバーの高さを調整します。

水平よりもやや低めになるようにセットし、ライダーの好みに合わせて微調整し、再び固定してください。



レバー高さの調整の際、スロットルケースとレバーが干渉してしまう場合は、2.5mmの六角レンチで図示のネジを緩め、スロットルを回転させて、干渉しない位置に固定してください。

## ⑤フットペグの取り付け



モトクロスポジションの時は前方の穴、トライアルポジションの時は後方の穴にフットペグを差し込みます。

ペグは、左右で違います。車両後方に可倒するように取り付けてください。



フットペグの小穴にイモネジが刺さる位置に合わせてください。



裏側からワッシャーを挟み、14mmのレンチを使用し、ナットを締めこんでください。

## ⑥タイヤの空気注入



前輪、後輪のタイヤに空気を入れます。WOOF16の場合、後輪の作業スペースが狭い為、先端の小さな空気入れを使用するか、右記のようなアダプターを使用すると作業が容易です。

推奨空気圧:200~250 kPa



DRCエアバルブエクステンション  
ホース付き

品番： D58-12-110

ホース長： 150 mm

価格： ¥1,760

## ⑦フロントフェンダーの取付け

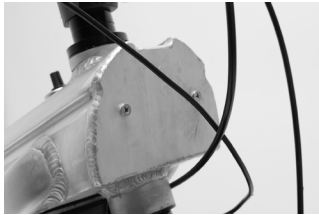


フロントフォークに仮挿入されているボルトを抜き取り、フロントフェンダーの取り付け穴をフォークのアーチにあてがってください。



前方と後方からボルトを差し込み、10mmレンチを使って固定してください。

## ⑧ゼッケンプレートの取り付け



+ドライバーを使い、皿ネジを取り外します。



ゼッケンプレートの裏面中央にある、縦の溝の中に、スロットルワイヤーが入るようにして、プレートをフレームに当てがってください。



先ほど取り外した皿ネジを締め込み、ゼッケンプレートを固定します。

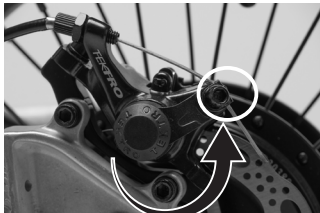
## ⑨ブレーキの調整(前後とも同様)



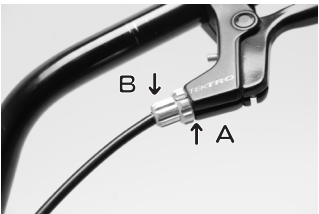
ブレーキキャリパーの左右の位置を最適にするため、5mmの六角レンチを使い、キャリパーの固定ボルトを緩め、仮止め状態にしてください。



ブレーキレバーを握り、ブレーキキャリパーがディスクを挟んだ状態を作り、そのまま固定ボルトを締めこんでください。上下のボルトを交互に締めこむようにしてください。



ワイヤーを固定しているボルトを緩め、ブレーキのアームを上方に動かし、ブレーキパッドとディスクの隙間を0.5mm程度になる位置で、ワイヤーを再び固定してください。



Aのナットを緩め、Bを回転させてブレーキの効き位置を微調整します。時計回りで近くなり、反時計回りで遠くなります。位置を決定した後は、Aのナットを締め、固定します。



## 注意

ブレーキパッドがディスクに馴染んでいない状態では、ブレーキの効きが十分ではありません。最初の乗車やブレーキパッドを交換した後は、徐々に慣らしていくようにしてください。

また、ブレーキディスク、ブレーキパッドに油分が付着しないように留意してください。

## ⑩ボディへのデカールの貼り付け

表面の油分、汚れを清掃した後、下図の番号を参考にデカールを貼ってください。アクア、ネイビーの2色がありますので、お好みで選んでください。番号のないものはフリーです。リアフェンダーについては、フェンダーを装着後に貼り付けを行います。

また、本製品のフレームは塗装や表面処理を行っておりません。デカールを貼る前に研磨を施し、お好みの艶に仕上げた後にデカールを貼ることで、より個性を引き立てることができます。



## ⑪リアフェンダーの取付け



リアフェンダーをフレームに乗せ、10mm  
レンチを使用して、前方の穴にボルトで固  
定してください。



シートを取り付ける場合(モトクロス仕  
様)は、後方の穴は⑬で固定します。

シートを取り付けない場合(トリアル仕  
様)は、後方の穴をボルト、ナットで固定し  
てください。

## ⑫リアフェンダー&シートへのデカールの貼り付け

リアフェンダーおよび、シートのデカールについては、図のとおりです。



### ⑬シートの取付け



シートの裏の突起を、リアフェンダーの先端に引っ掛け、車両後方に押し込んでください。



図のように下側からボルトを差し込み、10mmレンチを使用してシートを固定してください。



## 6. パワー調整ダイヤル

ダイヤルにより、無段階にパワーの調整ができます。左に回すとパワーは小さくなり、右に回すとパワーは大きくなります。

初めて乗車する際は、ダイヤルを左に回し、様子を見ながらパワーを調整してください。



## 7. モード切替スイッチ

モード切替スイッチにより、アクセルの開け始めのパワーの出方を変更することができます。

スイッチを押し込んだ状態(晴れモード)では、アクセルを開けるとダイレクトに加速を開始します。グリップの良い路面での乗車に適しています。

スイッチが戻った状態(雨モード)では、アクセル操作に対して、穏やかな出力になり、滑りやすい路面でのコントロールに適しています。初めて乗車する際は、雨モードの使用をお勧めします。

モード切替は、出だしの特性が違うだけで、最高速度や登坂性能に変化はありません。





## 8. メインスイッチ&インジケーター



メインスイッチを押し込むと、インジケーターランプが点灯し、走行可能状態であることを知らせます。インジケーターの状態説明は以下のとおりです。

- ①常時点灯……………バッテリー残量は100%～約35%です。
- ②ゆっくり点滅……………バッテリー残量は約35%以下です。
- ③小刻みに点滅……………転倒センサー(後述)が作動中です。
- ④消灯……………バッテリー残量がありません。走行は終了です。

## 9. 走行前の点検

走行前には、保護者の方が車両を点検して安全を確認してください。

- ①前後ブレーキの効きは正常ですか？
- ②モード切替は適切ですか？
- ③パワー調整ダイヤルは適切ですか？
- ④バッテリーはロックされていますか？
- ⑤タイヤの空気は適切ですか？
- ⑥ステアリングのガタはありませんか？
- ⑦各部のネジは緩んでいませんか(特にブレーキ、後輪車軸)？
- ⑧充電ポートのフタは閉じていますか？
- ⑨ワイヤー類が引っかかっていたり、損傷はありませんか？
- ⑩スロットルはスムーズに回転し、戻りますか？

## 10. 操作方法

- ①メインスイッチを押し込み、電源をONにします。メインスイッチが点灯します。
- ②パワー調整ダイヤルと、モード切替スイッチを確認します。
- ③サイドスタンドを払い、バイクにまたがります。
- ④スロットルを手前に捻ると開度に応じて後輪が駆動します。
- ⑤減速するときは、スロットルを戻し、ブレーキレバーを握ります。

右手ブレーキが前輪、左手ブレーキが後輪です。

※もしスロットルが開いたまま強く後輪ブレーキをかけた場合、モーター保護のため、電力がカットされます。

- ⑥走行を終了する際は、メインスイッチを操作し、電源をOFFにします。
- ⑦サイドスタンドをかけてください。



### 注意

パワー調整ダイヤルにより、モーターでの速度は規制されますが、エンジンブレーキは無いため、下り坂ではどんどん加速してしまいます。操作に不慣れなライダーが走行する場合、傾斜の無い場所を選んで練習してください。

サイドスタンドを立てる際は、ヒンジ部分で指を挟む危険がありますので、足で行うか、グローブを装着した状態で行ってください。

本製品は子供の乗車を想定しています。大人が過剰な負荷をかけた場合は、シート・フェンダーの破損、あるいはモーター内のギアの空転による異音などのトラブルが発生する場合があります。

## 11. 転倒センサー

ヨツバモトWOOFには、転倒を感知した際に自動的にモーターへの電力をカットするセンサーが搭載されています。

具体的には、横方向に約60度傾斜すると転倒状態と判断し、電力がカットされます。その際、インジケータが小刻みに点滅しセンサーの作動を知らせます。

転倒後、スロットルを開けた状態のまま車体を起こしてもモーターは稼働しません。車体を起こした後、スロットルを一度全閉に戻すと、センサーが解除され、走行が可能になります。



### 注意

転倒センサーは左右方向にのみ有効です。前後回転方向に対しては作動しません。

完全に上下逆さまの状態になると、センサーは車体が立っていると判定し電力のカットをおこないません。つまり前転あるいは後転し、そのまま上下逆の状態でも車体が静止した場合、後輪は回転し続ける可能性があります。保護者の方は走行中のライダーから目を離さないようにしてください。

## 12. バッテリーの取り扱い

### 水洗禁止

バッテリーは簡易防水処理されていますので、雨天でも走行可能です。しかし、流水での洗車の際は、必ず、車体からバッテリーを取り外してください。

バッテリーを洗浄する際は、濡れた雑巾などで拭きあげてください。また、絶対に水中に浸けないようにしてください。感電、短絡の原因となり非常に危険です。

端子部分に泥等が付着した場合は、水ではなく、ハブラシなどで清掃してください。

### 保管

できるだけ、涼しい場所で保管してください。真夏の車内などに保管すると、バッテリーの劣化を早めることとなります。

また、長期間使用しない時は、満充電にした後、冷暗所にて保管してください。

### 廃棄

廃棄の際は、お住まいの自治体のルールに従って、リサイクルにご協力をお願いします。



### 注意

バッテリーは絶対に分解、貫通、焼却、粉碎、短絡をしないでください。火災など重大な事故につながるおそれがあります。また、60℃以上の高温にさらさないで下さい。

## 13. モーター（ワンウェイクラッチ）

### ワンウェイクラッチ

モーター内部には、スロットルオフ時や下り坂などで、抵抗なく車輪が回転するように、ワンウェイクラッチが搭載されています。

急激に負荷がかかった場合や、後進状態からの急発進、ジャンプからの着地の際などにワンウェイクラッチのラチェットが空転し、カリカリと異音が発生することがあります。その状態でスロットルを開け続けると故障の原因になりますので、異音が発生した場合は一旦スロットルを緩めてください。

## 14. ブレーキパッドの消耗

本機が採用しているブレーキは自転車規格のものです。通常のオートバイのものよりも消耗が早いので、パッドの残量はこまめにチェックしてください。パッドが減ると、ディスクとの隙間が大きくなり、ブレーキの効きが悪くなります。

ワイヤー調整だけでは右側のパッドの隙間の調整はできませんので、適時4-⑨のとおり、キャリパーの固定を一度緩めて正しい位置出しを行ってください。

## 15. 故障かな、と思ったら

### 電源が入らない

- ・バッテリー残量不足……充電をしてください。
- ・バッテリーの差し込み不良……正しく装着できているかご確認ください。

### 充電が開始されない(ランプが赤くならない)

- ・充電器のケーブルの差し込み不足……各ケーブルのコネクタの挿入を確認してください。
- ・充電ポートへの泥等の付着……異物の確認をして、必要であれば清掃してください。
- ・バッテリー残量の誤認識……一度、電源インジケータが消灯するまで電池を使い切って再度お試しください。

### 走行しない

- ・モーターのケーブルの確認……外れ、差し込み不足がないか確認してください。

### 速度が出ない

- ・パワー調整ダイヤル……ダイヤルを右に回してください。
- ・タイヤの空気圧不足……推奨空気圧まで空気を入れてください。
- ・ブレーキの引きずり……タイヤがスムーズに回るようにブレーキを調整してください。
- ・スロットルの確認……スロットルに異物、割れ等ないか確認してください。動作の妨げになっているおそれがあります。



## 注意

バッテリー搭載機器のため、修理作業を誤ると発火、発熱のおそれがあります。お客様ご自身による機器内部の分解修理は行わないでください。

お手数ですが、販売店あるいは弊社までご連絡ください。

## 16. 主要諸元

	WOOF 16 ( )内はトライブル ディメンション※	WOOF 20 ( )内はトライブル ディメンション※
全長	1365mm(1320mm)	1605mm(1570mm)
全幅	60mm	60mm
全高	790mm(805mm)	925mm(935mm)
ホイールベース	950mm(905mm)	1095mm(1060mm)
シート高	563mm(485mm)	610mm(525mm)
最低地上高	170mm(200mm)	215mm(245mm)
キャスト角度	26° (23°)	26° (23°)
フレーム	AL6061	←
フロントサスペンション	テレスコピック	←
リアサスペンション	スイングアーム	←
フロントブレーキ	ワイヤー式ディスク	←
リアブレーキ	ワイヤー式ディスク	←
タイヤサイズ ※	16×2.4	20×2.5
車重	24.5kg	26.5kg
モーター	ブラシレスハブモーター	←
バッテリー	48V10Ah リチウム	←
定格出力	750W	←
最大出力	1500W	←
充電時間	3 時間	←
最高速度	40km/h	←
走行時間	60 分	←
許容体重	55kg	←
推奨年齢	7 歳～	9 歳～

※タイヤサイズの表記は自転車規格に則っています。オートバイの表記とは違い単位でご注意ください。  
また、20 インチは通称 19 インチと呼ばれる、やや物妙なサイズを採用しています。

## 17. 製品の保証について

ヨツバモトWOOFのメーカー保証期間は、お買い上げの日から1年間です。購入履歴のわかるレシート、納品書等と本書を合わせて保管ください。

フレーム、バッテリー、充電器、フォーク、モーター、ホイール、センサー、スイッチ、充電ポート、スロットル、配線、コネクタが保証の対象です。

※タイヤ、ブレーキパッド等の消耗品や外装品、転倒・間違った使用による破損は保証範囲に含まれません。また、改造車両についても保証対象からは除外されます。

※※バッテリーは封印のシールを剥がされたものについては保証の対象外になります。

※※※補修部品、交換部品については、弊社ホームページ <https://www.yotsubakids.jp/> をご覧ください。

### Yotsuba Motø WOOF 保証書

フレーム番号	
お名前	
ご住所	
電話番号	
販売店	
住所	
保証期間	お買い上げの日から1年間





# 1. About Yotsuba Moto WOOF

*Yotsuba Moto is a motorcycle brand that began in 2017 with the launch of the Meow series of electric bikes produced by Dirtfreak Inc. and designed to be safe and fun for children as young as 3-4 years old.*

*The WOOF is the perfect step up bike for riders who are already familiar with the Meow. Of course, it is also designed to be familiar to riders who are 7 to 8 years old or older and are new to riding.*

*Helmets must be worn when riding. It is recommended to wear long sleeves, long pants, boots, and elbow and knee protectors. Please start riding safely under the watchful eye of guardian.*



**CAUTION**

***The Yotsuba Moto WOOF is classified as a competition motorcycle.***

***Never drive on public roads.***

## 2. Checking the enclosed parts

The following contents are inside the package.

※The image shows WOOF16.



- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ① Main unit                       | ⑥ Foot pegs                   |
| ② Front wheel & nuts,<br>hardware | ⑦ Battery lock key            |
| ③ Handlebar                       | ⑧ Number plate                |
| ④ Rear fender                     | ⑨ Battery charger             |
| ⑤ Seat                            | ⑩ Front fender                |
|                                   | ⑪ 2 sets of decals (6 sheets) |

**The tools used for assembly and adjustment are not included.**

**Tools required are as follows.**

Spanners, Wrenches 8mm, 10mm, 14mm, 15mm, 22mm

Phillips screwdriver No.2

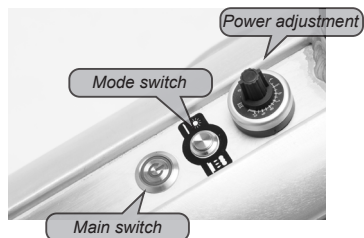
Hexagon wrenches: 2mm, 2.5mm, 3mm, 4mm, 5mm, 6mm, 10mm

A plastic hammer

Air pump for wheel (with a small tip)

# 3. Name of each part

※The image shows WOOF16.



## 4. Charging the battery



Make sure that the main power is off (unlit).



Insert the key into the cylinder on the right side of the battery and turn it 180° to the left to unlock it.



Slide the battery forward to remove.

※Charging can be done either with the battery mounted on the vehicle or with it removed.



Plug the charger terminal into the port on the left side to start charging. Make sure that the indicator light on the charger is lit red.

When the indicator light turns green, charging is complete. The estimated charging time is 3 hours.



Align the groove on the body with the claw on the battery, and push the battery into the rear of the bike as if sliding it in.



The battery can be locked by turning the right key cylinder 180° to the right; if it cannot be turned 180°, check if the battery is not pushed in far enough. Please remove the key after locking.



### CAUTION

- Be sure to use the dedicated charger included in the package.
- When charging outdoors, do so in the shade. When charging outdoors, do so in a shady place and keep out of the rain.
- The charger is equipped with an overcharge protection circuit, but for safety reasons, remove the charger as soon as charging is completed.
- The cord that comes with the charger is a dedicated one. Do not use other cords.

# 5. Assembly and Adjustment

## 1) Installing the front wheel



Use a 5mm hex wrench, loosen the brake fixing bolt and make sure that the brake caliper can move left and right.



Install the front wheel on the fork. Make sure that the brake disc goes between the brake pads.



Install the washer on the axle and tighten the nut to secure it using a 15mm wrench.

## 2) Install the handlebar



Use a 4mm hex wrench, loosen the bolt and remove the stem clamp.



Align the handlebar and install the stem clamp. The bar should lie slightly more forward than vertically. And fix it.



Use a 5mm hex wrench, loosen the clamp bolt on the column side, straighten the handlebar, and secure it again.

### 3) Selecting the swing arm position

The swingarm is mounted in "the motocross position" when opened. The lower ride height, longer wheelbase and laying down front forks are suitable for riding at speed.

"The trial position" is a relatively low speed dimension suitable for tight turns, front up and other actions. It can be easily changed, so try to use it in different parks. Here is an example of changing from the motocross position to the trial position.



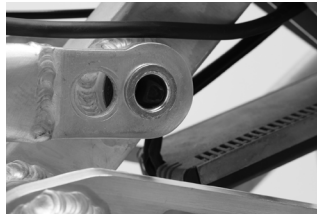
**MOTOCROSS POSITION**



**TRIAL POSITION**



Place the bike on the platform and lift the rear wheel.



Remove the black rubber cap.



Insert a 6mm hex wrench into the right side of the swing arm pivot and loosen the bolt at the back. If the vehicle is turning, insert a 10mm hex wrench into the left pivot and attach it.



Use a 6mm wrench to loosen the bolt on the right side and push it in with the wrench, or the pivot part on the left side will be pushed out. If it is too hard, use a plastic hammer to hit the wrench.



Continue to pull out the left side part.



From the left side, push in a 10mm hex wrench to push out the right side pivot part, and pull it out in the same way as the left side. If it is too hard, use a plastic hammer to tap the wrench.



*Shift the swing arm to align the rear hole with the pivot hole.*



*Insert the pivot part on the right side.*

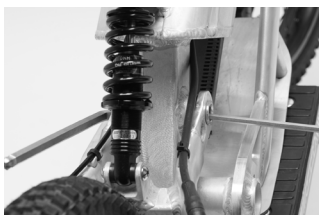


*Continue to push it all the way in. If it is too hard, tap it lightly with a plastic hammer.*



*Insert the left side pivot part and push it all the way in.*

*If it is too hard, tap it lightly with a plastic hammer to insert it.*



*Insert a 10mm hex wrench into the left side, insert the bolt from the right side, and tighten it with a 6mm hex wrench.*



*Make sure that the pivot parts are inserted all the way and that there are no floating or gaps.*

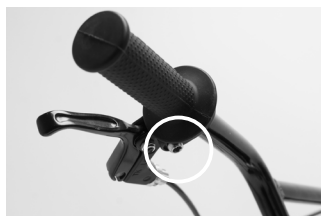
*Finally, install the rubber cap.*

#### **4) Adjusting the lever position (common to both left and right)**



*Use a 2mm hex wrench, turn the screw shown in the illustration to adjust the proximity of the lever to fit the size of the rider's hand.*

*The tighter you tighten the lever, the closer the lever position will be. (It cannot be farther than the initial position)*



*Use a 5mm hex wrench, loosen the bolt shown in the illustration to adjust the lever height.*

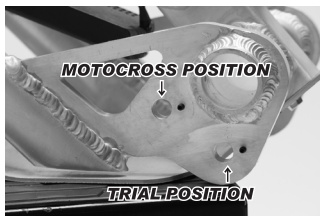
*Set it slightly lower than horizontal, make fine adjustments according to the rider's preference, and fix it again.*



*If the lever interferes with the throttle case when adjusting the lever height, loosen the screw shown in the illustration with a 2.5mm hex wrench, rotate the throttle, and attach it in a position where it will not interfere.*



## 5) Install the foot pegs



Insert the foot pegs into the forward holes for the motocross position and the rear holes for the trial position.

The pegs are different for left and right. Install the foot pegs so that they can be tipped to the rear of the vehicle.

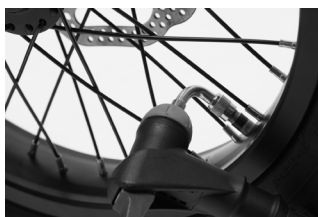


Align the foot pegs so that the small holes on the foot pegs can be pierced by the immersion screws.



Insert the washer from the back side and tighten the nut using a 14mm wrench.

## 6) Inflate the tires



Inflate the front and rear tires; in the case of the WOOF16, the rear tire has a small space to work in, so it is easier to use a pump with a smaller tip or an adapter like the one shown at right.

Recommended air pressure: 200~250 kPa

## 7) Installing the front fender

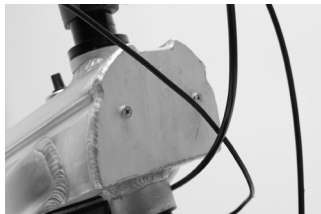


Remove the bolt temporarily inserted into the front fork, and place the mounting hole of the front fender against the arch of the fork.



Insert the bolts from the front and rear and secure them using a 10mm wrench.

## 8) Installation of the number plate



Use a screwdriver to remove the countersunk screw.

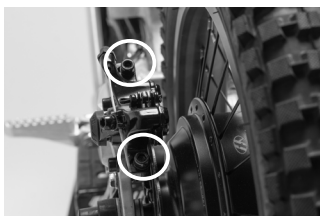


Place the plate against the frame, make sure that the throttle wire is placed in the vertical groove in the center of the back of the number plate.



Tighten the countersunk screw that was removed earlier to secure the number plate.

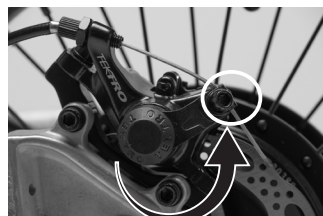
## 9) Adjust the brakes (same for front and rear)



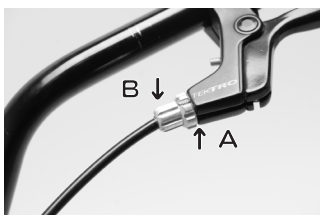
To optimize the left and right positions of the brake calipers, use a 5mm hex wrench to loosen the caliper fixing bolts and set them in a temporary position.



Grab the brake lever to make the brake caliper pinch the disc, and then tighten the fixing bolts. Tighten the upper and lower bolts alternately.



Loosen the bolts securing the wire, move the brake arm upward, and re-tighten the wire when the gap between the brake pad and the disc is about 0.5mm.



Loosen the nut at A, and rotate B to fine-tune the brake's effective position. Turn clockwise to get closer and counterclockwise to get farther. Once the position has been determined, tighten the nut at A to secure it.



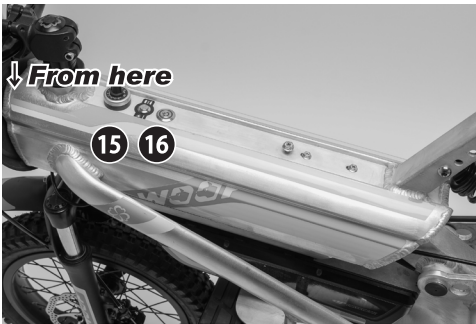
## CAUTION

If the brake pads are not fully acclimated to the disc, the brakes will not be fully effective. After the first ride or replacement of the brake pads, be sure to break them in gradually. Also, keep in mind to prevent oil from sticking to the brake discs and brake pads.

## 10) Applying decals to the body

After cleaning the surface of the body of any oil or dirt, apply the decals by referring to the numbers shown below. There are two colors, aqua and navy, so choose the one you like best. Those without numbers are free. As for the rear fenders, apply them after the fenders are installed.

Also, the frame of this product has not been painted or surface treated. You can enhance the individuality of the product by polishing it before applying the decals, and then applying the decals after finishing it to your desired gloss.



## 11) Attach the rear fender



Place the rear fender on the frame and bolt it to the forward hole using a 10mm wrench.



If a seat is installed (motocross specification), the rear hole can be fixed later.

If the seat is not installed (trial model), secure the rear holes with bolts and nuts.

## 12) Applying decals to the rear fender and seat

Decals for the rear fender and seat are as shown in the figure.



### 13) Installation of Seat



*Hook the protrusion on the back of the seat onto the tip of the rear fender, and push it toward the rear of the bike.*



*Insert the bolt from the bottom side as shown in the figure, and use a 10mm wrench to fix the seat.*



## 6. Power adjustment dial

The power can be adjusted steplessly with the dial. Turning the dial to the left will decrease the power, and turning it to the right will increase the power.

When riding for the first time, turn the dial to the left and adjust the power as you see fit.



## 7. Mode switch

The mode switch allows you to change the power output at the beginning of acceleration. When the switch is pushed in (sunny mode), acceleration starts directly when the throttle is opened. This is suitable for riding on surfaces with good grip.

When the switch is back in (rain mode), the power output is gentle in response to operation, suitable for control on slippery surfaces. It is recommended to use the rain mode when riding for the first time.

The mode switch does not change the maximum speed or hill climbing performance, only the starting characteristics.



## 8. Main switch & indicator



When the main switch is pushed in, the indicator light will come on to let you know that the bike is ready to ride. The following is an explanation of the indicator status.

- (1) Always on** : .....Battery level is 100% to about 35%.
- (2) Slowly flashing** : .....Battery level is below about 35%.
- (3) Flashing in small increments** : .....Fall sensor (see below) is activated.
- (4) Unlit** : .....No remaining battery power. The ride is over.

## 9. Inspection before ride

Guardians should inspect the bike and make sure it is safe before riding.

- 1) Are the front and rear brakes working properly?
- 2) Is the mode switch appropriate?
- 3) Is the power adjustment dial set properly?
- 4) Is the battery locked?
- 5) Are the tires properly inflated?
- 6) Is there any rattle in the steering wheel?
- 7) Are any of the screws loose (especially the brake and rear axle)?
- 8) Is the cover of the charging port closed?
- 9) Are there any wires caught or damaged?
- 10) Does the throttle turn and return smoothly?

# 10. How to operate

- 1) Push in the main switch to turn on the power. The main switch will light up.
- 2) Check the power adjustment dial and the mode switch.
- 3) Remove the side stand and straddle the bike.
- 4) Twist the throttle toward you to drive the rear wheel according to the throttle opening.
- 5) When decelerating, return the throttle and grip the brake lever.

*The right hand brake is for the front wheel and the left hand brake is for the rear wheel.*

*If the rear brake is applied strongly with the throttle open,  
the power will be cut to protect the motor.*

- 6) When you finish running, operate the main switch to turn off the power.
- 7) Please put the side stand on.



## CAUTION

*The power adjustment dial regulates the speed of the motor, but there is no engine brake, so the bike will accelerate rapidly on downhills. If you are an inexperienced rider, please choose an area with no slope for practice.*

*When putting up the side stand, there is a danger of pinching your fingers on the hinges, so use your feet or wear gloves.*

*This product is designed to be ridden by children. If an adult puts excessive load on the product, it may cause damage to the seat or fender, or abnormal noise due to spinning gears in the motor.*



## 11. Tumble sensor

*The Yotsuba Moto WOOF is equipped with a sensor that automatically cuts power to the motor when it detects a fall.*

*Specifically, when the machine is tilted about 60 degrees sideways, it is judged to be in a tipping condition and the power is cut. When this happens, the indicator flashes in small increments to indicate that the sensor is activated.*

*After a fall, the motor will not operate even if the vehicle is raised with the throttle open. If the throttle is left open after a fall, the motor will not operate. If the throttle is returned to fully closed after raising the vehicle, the sensor will be deactivated and the bike can be driven.*



### **CAUTION**

*The tipping sensor is effective only in the left-right direction. In the case of the upside down condition, the sensor will not work.*

*When the bike is completely upside down, the sensor judges that the bike is standing and does not cut the power. In other words, if the bike is rolling forward or backward, the sensor will not cut power. In other words, if the bike rolls forward or backward and comes to a standstill in the upside-down state, the rear wheels may continue to rotate.*

*Guardians should keep an eye on the rider while riding.*

## 12. Handling the battery

### **No washing with water**

*The battery is simply waterproofed, so it can be run in the rain. However, be sure to remove the battery from the body when washing the bike.*

*When washing the battery, wipe it with a wet rag. Also, never immerse the battery in water. Doing so may cause an electric shock or short circuit, which is extremely dangerous.*

*If mud or other contaminants adhere to the terminals, clean them with a toothbrush or similar tool, not with water.*

### **Storage**

*Store the product in a cool place as much as possible. Storing the product in a bike in the middle of summer will accelerate the deterioration of the battery.*

*When not in use for a long time, fully charge the battery and store it in a cool, dark place.*

### **Disposal**

*When disposing of the battery, please follow the rules of your local government for recycling.*



## **CAUTION**

- *Don't disassemble, crush, puncture, or incinerate.*
- *Don't short circuit external contacts.*
- *Don't expose to temperature 60°C (140°F).*
- *Don't dispose in fire or water.*

## **13. Motor (one-way clutch)**

### **One-way clutch**

*The motor is equipped with a one-way clutch to allow the wheels to rotate without resistance when the throttle is turned off or when going downhill.*

*The ratchet of the one-way clutch may spin out of control when a sudden load is applied, or when making a sudden start from a backward position, or when landing from a jump, and a crunching noise may be generated. Continuing to open the throttle in this condition may cause a malfunction, so please loosen the throttle once the noise occurs.*

## **14. Brake pad wear**

*The brakes used in this unit are bicycle-standard brakes. Since they wear out more quickly than those of ordinary motorcycles, please check the remaining pad capacity frequently. As the pads wear down, the gap between them and the disc becomes larger, and the brakes will not work as well.*

*It is not possible to adjust the gap between the pads on the right side by wire adjustment alone, so loosen the caliper fixing once and position it correctly as shown in timely manner 4-9.*

## **15. If you think you have a problem**

### **The power does not come on**

*Insufficient battery power: ..... Please recharge the battery.*

*The battery is not inserted properly. .... Please check if it is installed properly.*

### **Charging does not start (lamp does not turn red)**

*Insufficient insertion of the charger cable: ...Please check the connector of each cable.*

*Check the connector of each cable.*

*Misrecognition of battery level: ..... Once the battery has been used up until the power indicator turns off, try again.*

### **It does not run**

*Check the motor cable ..... to see if it is disconnected or not plugged in properly.*

### **No speed**

*Turn the power adjustment dial ..... to the right.*

*Insufficient air pressure in the tire: .....Inflate the tire to the recommended pressure.*

*Brake drag ..... Adjust the brake so that the tire turns smoothly.*

*Check the throttle ..... to make sure there are no foreign objects or cracks in the throttle.*

*It may be interfering with the operation.*



## **CAUTION**

*Since it is a battery-equipped device, it may catch fire or generate heat if repair work is mistaken. Do not disassemble and repair the inside of the device by yourself.*

*Please contact your dealer or us for assistance.*

# 16. Specifications

	<b>WOOF16</b>	<b>WOOF20</b>
	( ) = Trial position	( ) = Trial position
<i>Length</i>	1365mm(1320mm)	1605mm(1570mm)
<i>Width</i>	60mm	60mm
<i>Height</i>	790mm(805mm)	925mm(935mm)
<i>Wheel base</i>	950mm(905mm)	1095mm(1060mm)
<i>Lowest seat height</i>	563mm(485mm)	610mm(525mm)
<i>Minimum under clearance</i>	170mm(200mm)	215mm(245mm)
<i>Caster angle and trail</i>	26°(23°)	26°(23°)
<i>Frame</i>	AL6061	←
<i>Front suspension</i>	Telescopic	←
<i>Rear suspension</i>	Swing arm	←
<i>Front brake</i>	Wire disc	←
<i>Rear brake</i>	Wire disc	←
<i>Tire size</i>	16×2.4	20×2.5
<i>Weight</i>	24.5kg	26.5kg
<i>Motor</i>	Brushless Hub Motor	←
<i>Battery</i>	48V10Ah Lithium	←
<i>Rated output</i>	750W	←
<i>Maximum output</i>	1500W	←
<i>Charging time</i>	3 hours	←
<i>Maximum speed</i>	40km/h	←
<i>Running time</i>	60 min	←
<i>Acceptable body weight</i>	55kg	←
<i>Recommended age range</i>	7 years old ~	9 years old ~

# 17. Product Warranty

The manufacturer's warranty period for the Yotsuba Moto WOOF is one year from the date of purchase. **Please keep this manual together with the receipt or delivery note showing your purchase history.**

The warranty covers the frame, battery, charger, fork, motor, wheels, sensors, switches, charging port, throttle, wiring and connectors.

The warranty does not cover consumable parts such as tires and brake pads, exterior parts, or damage caused by falls or improper use.

The warranty does not cover batteries that have had the seal removed.

For repair parts and replacement parts, please refer to our website at <https://www.yotsubakids.jp/>.



## Warranty claim form

<i>Frame number</i>
<i>Name</i>
<i>Address</i>
<i>Phone number</i>
<i>Authorized dealer</i>
<i>Address</i>
<i>Warranty period a year from      month      date      year</i>



Yotsuba  moto  
**WOOF**

[www.yotsubakids.jp](http://www.yotsubakids.jp)



株式会社 **ダートフリースク**

〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30  
TEL:0561-86-8305 FAX:0561-86-8302

 **DIRTFREAK**

2-30 Nakamizuno, Seto, Aichi 489-0005 JAPAN  
TEL : 81-561-86-8390 FAX : 81-561-86-8302